

## 常石由良ドック、メンブレン型 LNG 船修繕にかかわる GTT 社ライセンス取得 —LNG 輸送の多様化に向け、修繕対応船型の拡充へ—

常石由良ドック株式会社（本社：和歌山県日高郡由良町、代表者：代表取締役社長 近藤学）は、Gaztransport & Technigaz 社（以下、GTT）による、メンブレン型 LNG 運搬船の修理・メンテナンスに関する所定の技術トレーニングを修了し、GTT より認定修理造船所（Approved Repair Yard）のライセンスを取得いたしました。



3月9日（月）GTT主催 TOKYO SEMINAR の幕間に行われたライセンス授与式

当社はこれまで MOSS 型 LNG 運搬船の修繕工事に注力し、1982 年の第 1 船以来現在までに計 108 隻の完工実績を積み重ねております。今後は LNG 海上輸送動向の変化に対応し、MOSS 型、メンブレン型、両方の LNG 運搬船の修理メンテナンスを可能とすべく体制整備を進めてまいります。

世界的なゼロ・エミッションの推進機運の高まりに応じ、トランジション燃料としての LNG の重要性は年々高ま

っています。当社においては LNG 運搬船に加え LNG 燃料船の修繕実績も順調に積み重ねており、海事産業における脱炭素化をドックで支える企業となれるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。



メムブレ型 LNG 船



メムブレ型 LNG カーゴタンク内部

(いずれも写真提供：GTT)

#### 〈施設概要〉

ドライドック	長さ 405m×幅 65m×深さ 14.3m、最大入渠可能船 330,000DWT
ドック付帯クレーン	150T、50T、20T 各1基
主要修繕岸壁	2号岸壁（長さ 275m、50T クレーン付）
4/5号岸壁	長さ 395m（20T クレーン付）

#### ■常石由良ドック株式会社

常石由良ドックは、1973年の創業以来、LNG 運搬船、一般商船、フェリー、官公庁船、特殊船など、多岐にわたる船種の修改造を手がけてきた、国内有数の規模を誇る修繕船専用工場です。高い専門性と臨機応変な対応力を強みとし、顧客満足度をより高めるべく、時代の変化を敏感に捉えながら、お客様のご要望に的確にお応えできるようこれからも挑戦を続けてまいります。

本社所在地：和歌山県日高郡由良町大字網代 193-13

代表者：代表取締役社長 近藤学

企業サイト：<https://www.tsuneishi.co.jp/yura/>



－ 本件に関するお問い合わせ先 －

常石グループ株式会社

コーポレートコミュニケーション部

メール：[pr@tsuneishi.com](mailto:pr@tsuneishi.com)

TEL：084-987-4915

